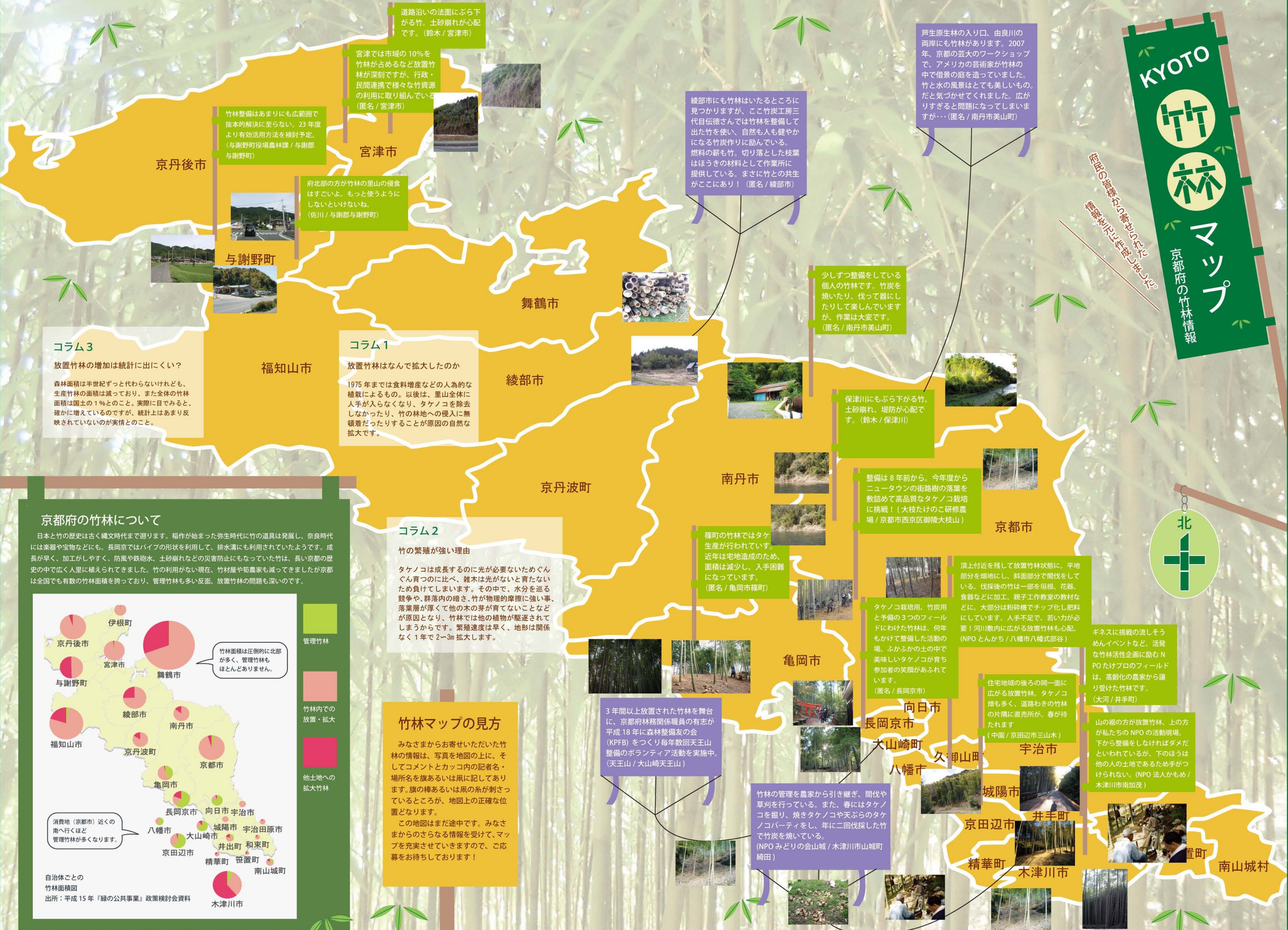


KYOTO 竹林マップ

京都府の竹林情報

京都府の竹林情報
京都府の竹林情報



ギネスに挑戦の流しそめんイベントなど、活発な竹林活性企画に励むNPO たけのこのフィールドは、高齢化の農家から譲り受けた竹林です。(大河 / 井手町)

山の麓の方が放置竹林、上の方が私たちのNPOの活動現場。下から整備をしなければダメだといわれているが、下のほうは他の人の土地であるため手をつけられない。(NPO 法人かもめ / 木津川市南加茂)



芦生原生林の入り口、由良川の両岸にも竹林があります。2007年、京都の芸大のワークショップで、アメリカの芸術家が竹林の中で借景の庭を造っていました。竹と水の風景はとても美しいもの。だと気づかせてくれました。広がりが問題になってしまいましたが…(匿名 / 南丹市美山町)

綾部市にも竹林はいたるところに見つかりますが、ここ竹炭工房三代目伝徳さんでは竹林を整備して出た竹を使い、自然人も健やかに竹炭作りに励んでいる。燃料の薪も竹。切り落とした枝葉はほうきの材料として作業所に提供している。まさに竹との共生がここにあり！(匿名 / 綾部市)

少しずつ整備をしている個人の竹林です。竹炭を焼いたり、伐って器にしたりして楽しんでいます。作業は大変です。(匿名 / 南丹市美山町)

保津川にもぶら下がる竹。土砂崩れ、堤防が心配です。(鈴木 / 保津川)

整備は8年前から、今年度からニュータウンの街路樹の落葉を敷詰めて高品質なタケノコ栽培に挑戦！(大枝 / たけのこ研修農場 / 京都市西京区御陵大枝山)

頂上付近を残して放置竹林状態に。平地部分を畑地にし、斜面部分で間伐をしている。伐採後の竹は一部を垣根、花器、食器などに加工、親子工作教室の教材などに。大部分は粉砕機でチップ化し肥料にしています。人手不足で、若い力が必要！河川敷内に広がる放置竹林も心配。(NPO とんかち / 八幡市八幡式部谷)

タケノコ栽培用、竹炭用と準備の3つのフィールドにわけた竹林は、何年もかけて整備した活動の場。ふかふかの土の中で美味しいタケノコが育ち参加者の笑顔があふれています。(匿名 / 長岡京市)

住宅地域の後ろの同一面に広がる放置竹林。タケノコ畑も多く、道路わきの竹林の片隅に直売所が。春が待たれます。(中国 / 京田辺市三山木)

竹林の管理を農家から引き継ぎ、間伐や草刈を行っている。また、春にはタケノコを掘り、焼きタケノコや天ぷらのタケノコパーティーをし、年に二回伐採した竹で竹炭を焼いている。(NPO みどりの会山城 / 木津川市山城町綺田)

3年間以上放置された竹林を舞台に、京都府林務関係職員の有志が平成18年に森林整備友の会(KPFB)をつくり毎年数回天王山整備のボランティア活動を実施中。(天王山 / 大山崎天王山)

竹林マップの見方

みなさまからお寄せいただいた竹林の情報は、写真を地図の上に、そしてコメントとカッコ内の記者名・場所名を旗あるいは扇に記してあります。旗の棒あるいは扇の糸が刺さっているところが、地図上の正確な位置となります。この地図はまだ途中です。みなさまからのさらなる情報を受けて、マップを充実させていきますので、ご応募をお待ちしております！

コラム2 竹の繁殖が強い理由

タケノコは成長するのに光が必要ないためぐんぐん育つのに比べ、雑木は光がないと育たないため負けてしまいます。その中で、水分を巡る競争や、群落内の暗さ、竹が物理的摩擦に強い事、落葉層が厚くて他の木の芽が育てないことなどが原因となり、竹林では他の植物が駆逐されてしまうからです。繁殖速度は早く、地形は関係なく1年で2~3m 拡大します。

コラム1 放置竹林はなんで拡大したのか

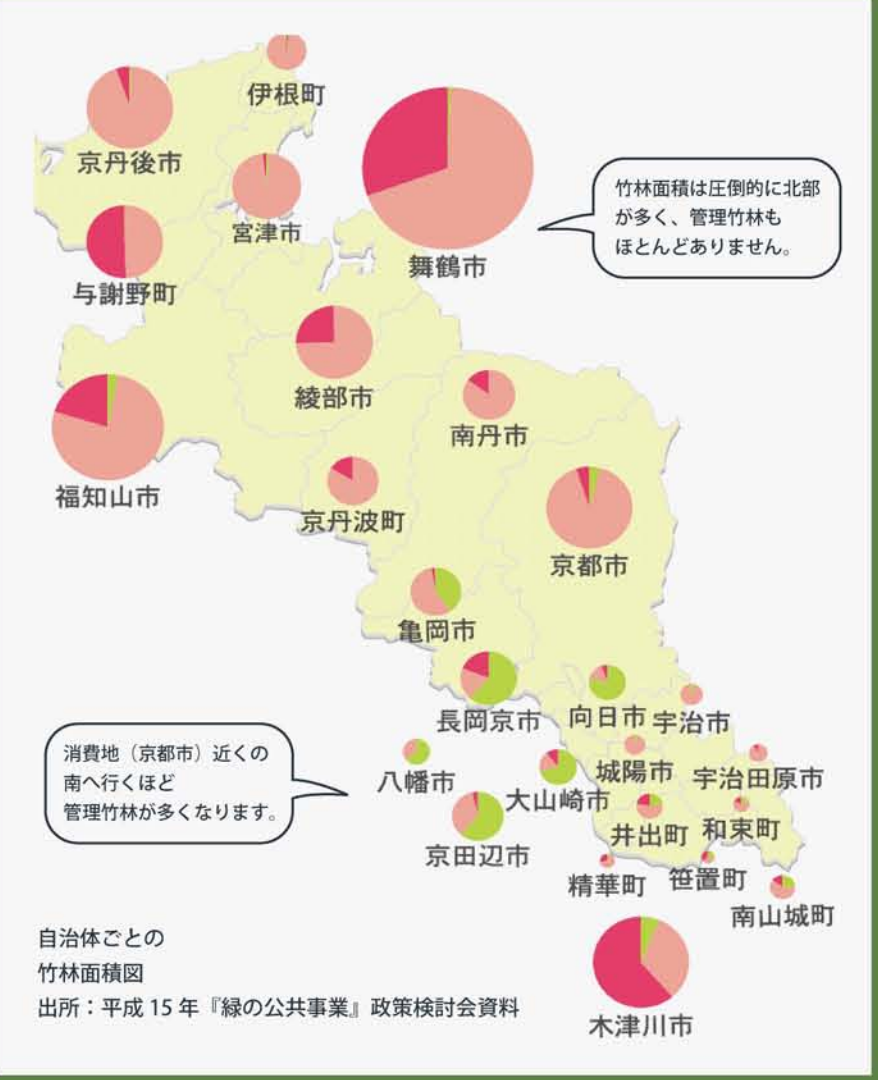
1975年までは食料増産などの人為的な植栽によるもの。以後は、里山全体に人手が入らなくなり、タケノコを除去しなかったり、竹の林地への侵入に無頓着だったりすることが原因の自然な拡大です。

コラム3 放置竹林の増加は統計に出にくい？

森林面積は半世紀ずっと代わらないけれども、生産竹林の面積は減っており、また全体の竹林面積は国土の1%とのこと。実際に目で見ると、確かに増えているのですが、統計上はあまり反映されていないのが実情とのこと。

京都府の竹林について

日本と竹の歴史は古く縄文時代まで遡ります。稲作が始まった弥生時代に竹の道具は発展し、奈良時代には楽器や宝物などにも。長岡京ではパイプの形状を利用して、排水溝にも利用されていたようです。成長が早く、加工がしやすく、防風や鉄砲水、土砂崩れなどの災害防止にもなっていた竹は、長い京都の歴史の中で広く人里に植えられてきました。竹の利用がない現在、竹材屋や畜産家も減ってきましたが京都は全国でも有数の竹林面積を誇っており、管理竹林も多い反面、放置竹林の問題も深いのです。



- 管理竹林 (Green)
- 竹林内での放置・拡大 (Yellow)
- 他土地への拡大竹林 (Red)

竹林面積は圧倒的に北部が多く、管理竹林もほとんどありません。

消費地(京都市)近くの南へ行くほど管理竹林が多くなります。